



第7町内会役員会を開催

2月から3月にかけての大雪も、間近に迫った春の訪れと共に跡形もなく消えつつあります。新たに私たちにとって今までに経験した事のない新型コロナウイルスの感染が立ち塞がっています。感染経路や予防体制などはテレビなどの報道で少しづつ分かっては来ていますが、この先の見通しなどはつきりした事は分かっていません。

そんな中で今年7月末から行われる予定の「東京オリンピック」も延期の可能性が高まっており、この会報が発行される頃には決定している事でしょう。

わが第7町内活動も年度変わりの時期ということもあり、新年度の定期総会へ向け3月28日（土）15時から北郷会館2階で第3回役員会を開催し、本期活動報告、会計報告、来期活動案や予算案など、さらに定期総会の実施方法についての協議を行いました。

今後様々な状況の変化に左右され、落ち着かない日々を過ぎざなければならぬ事態も危惧されますが、そんな時こそ「町内会のご近所」同志で声を掛け合い、この難局を乗り越えて行きたいと思います。



なお北郷親栄町内会連絡協議会も同じく28日の13時から、北郷会館2階にて令和1年度の第2回役員総会を開催しました。今年は前もって役員へ議案書を配布して本期活動の総括と来期の計画へ向けて協議を行いました。

なお定期総会など日程等の内容は後日連絡して参ります。

令和2年3月
発行人 鈴木 勝博
編集人 田中 啓二

北郷会館で「俳句講座」を開催

最近TBS系テレビ企画「フレバト」（毎週木曜日午後19時～）において日本の伝統文化「俳句」を芸能人が詠み、俳句の先生に格付けしてもらひ競い合うという番組に人気が集まっています。

いわゆる「五、七、五」という限られた文字数の中で、季語を入れて鮮やかに一瞬の心情を表現しようとする中に、日本人の心の「わびさび」が垣間見られています。

親栄町内会でも広報部の高澤光雄さんが講師となり、毎月第2月曜日の午後1時半～3時まで俳句講座を北郷会館で行っています。

第7町内会からは5名が参加しており、会場費は北郷長寿会が主催しているので参加費は無料、出席者は毎回その時期にふさわしい季語を入れて2句を提出、高澤講師が翌月の開催日に上位からの句を添削指導。どんな句でも良くなるので皆で楽しんでいます。

なお参加申し込みは不要で講座テキストは毎回配布していますので、俳句を好んでいる方や興味のある方ぜひ参加してみてください。



写真の続きは裏面にもあります。



恒例の「子ども冬まつり」賑わう！

去る2月2日（日）好天の下、午前11時から「あゆみ幼稚園」グランドをお借りして、第3・第7町内会の共催で「子ども冬まつり」を行いました。

グランドでは第3町内会の田畠会長が代表挨拶をした後、司会進行により親子そりリレー・カード探し競争・子ども綱引き・役員が扮した赤鬼、青鬼目掛けての節分豆まきなどを行い、沢山のお菓子の賞品が全員に配られました。

その後会場を北郷会館に移し1階と2階に分けて、町内会の男性有志が突いた「餅」を女性部の皆さんに「雑煮ときな粉餅」にして振舞われました。

当日は昨年よりも参加人数が多く2百人以上の親子が来られ、冬季間の屋外でのイベントとしては大変盛り上がりを見せていました。

また「雑煮ときな粉餅」も好評で「もう少し食べたかった」という声も聞かれましたので、来年はもうひと工夫して参加の皆さんに喜んで頂けるよう努力して参ります。

当日は沢山の子どもさんが参加されました。紙面の都合で一部を紹介します。



感染症対策へのご協力をあねがいします

！咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人になつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなど「鼻と口を離します。
- ・どっさの時は「おはよ上唇」の内で留めます。
- ・周囲の人からなるべく離れます。

3つの咳エチケット

飛沫で飛沫、手など人が集まるところでやろう



正しいマスクの着用



感染症対策へのご協力をあねがいします

！手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。**外出先からの帰宅時や園庭の前後、食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で洗し、
綿棒タオルやペーパータオルで
よく拭き取っておきましょう。

厚生労働省

新型インフルエンザの
感染拡大は
一人ひとりが防ぐ！

感染を予防するためには
こまめな手洗い・うがいを
徹底しましょう

感染をひろげないために
咳エチケットを守ってください

感染をひろげないために
かかったあとは外出自粛をしてください

重症化リスクの高い方は早期受診！

- 施設の入る方のなかには、治療の結果や状況により、インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方がいます。（厚生省基準）
- 手洗い（こまめな手洗い）が、こまめに守ることで安心ができます。
- また定期的な検査や医療、その他の医療などの状況に応じたら、早期に受診して下さい。

※インフルエンザに罹った場合は、必ず医療機関に相談して下さい。
※厚生労働省HPより抜粋

厚生労働省インフルエンザ相談窓口 TEL: 03-3501-6031 FAX: 03-3501-9344 受付時間：9時30分～18時00分

※インフルエンザに対する詳しい情報は厚生労働省ホームページへ：<http://www.mhlw.go.jp/stf/influenza/information.html>